

児童虐待の現状と対策



滋賀県警察本部
生活安全部少年課

児童虐待の定義

児童虐待とは、**保護者**が監護する
児童に対して

- 1 身体的虐待
- 2 性的虐待
- 3 怠慢又は拒否（ネグレクト）
- 4 心理的虐待

児童虐待の特質

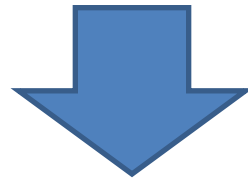
- 保護者の性格、経済、就労、夫婦関係、住居、近隣関係、医療的課題、児童の特性等の**多様な問題**が複合、連鎖的に作用して発生していると考えられること。
- 主として**家庭の中**で起きること。
- 被害児童が加害者の庇護なしでは生活できない**弱い立場**にあるため、保護者を庇ったり、虐待環境が日常化し被害者としての自覚が乏しい場合が多いことなどから、**自主的な被害申告が望めない**こと。
- **潜在化**しやすく早期に発見することが極めて困難な事案であると言えること。
- **反復、継続**して行われる場合が多く、**児童に重大な被害**が生じるおそれがあること。
- 被害児童の身体、知的発達に加え、情緒、心理・行動等の発達や対人関係の構築等に様々な影響を与え、**心身に深刻な被害をもたらす**こと。

児童通告について

児童福祉法第25条

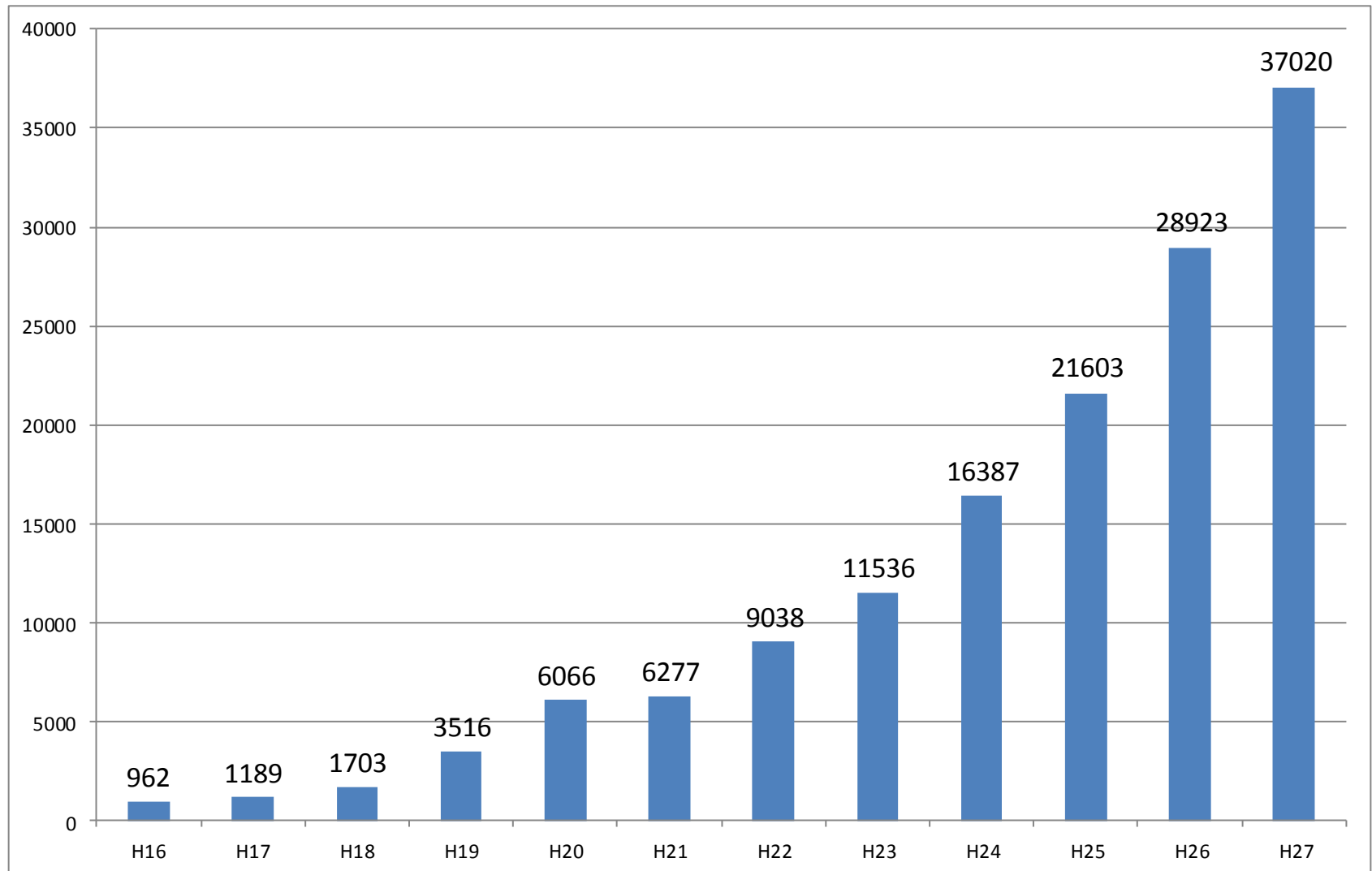
要保護児童を発見した者は、児童相談所若しくは、福祉事務所などに**通告しなければならない**。

警察が要保護性のある児童虐待（疑いを含む）を認知した場合

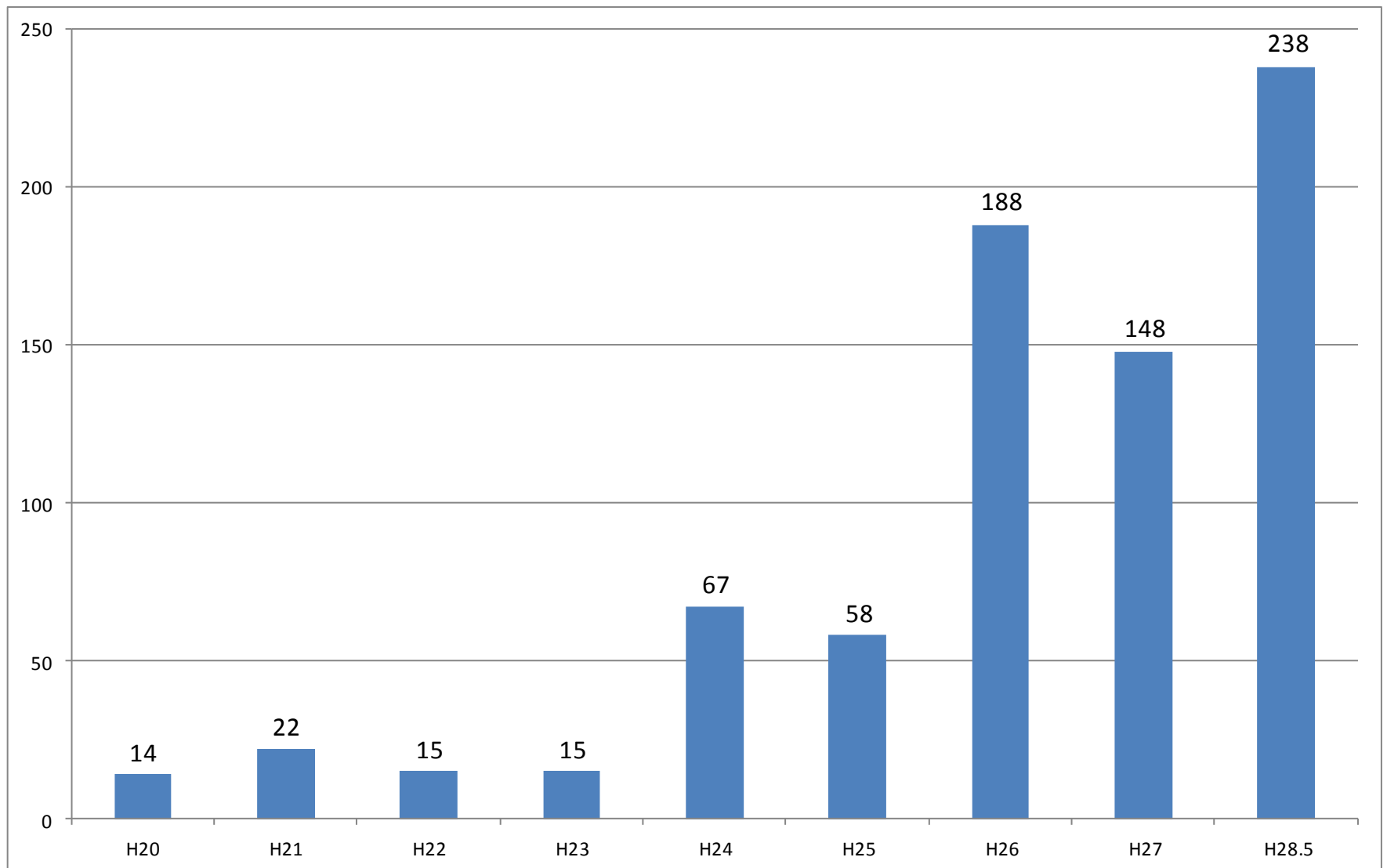


管轄する児童相談所に通告

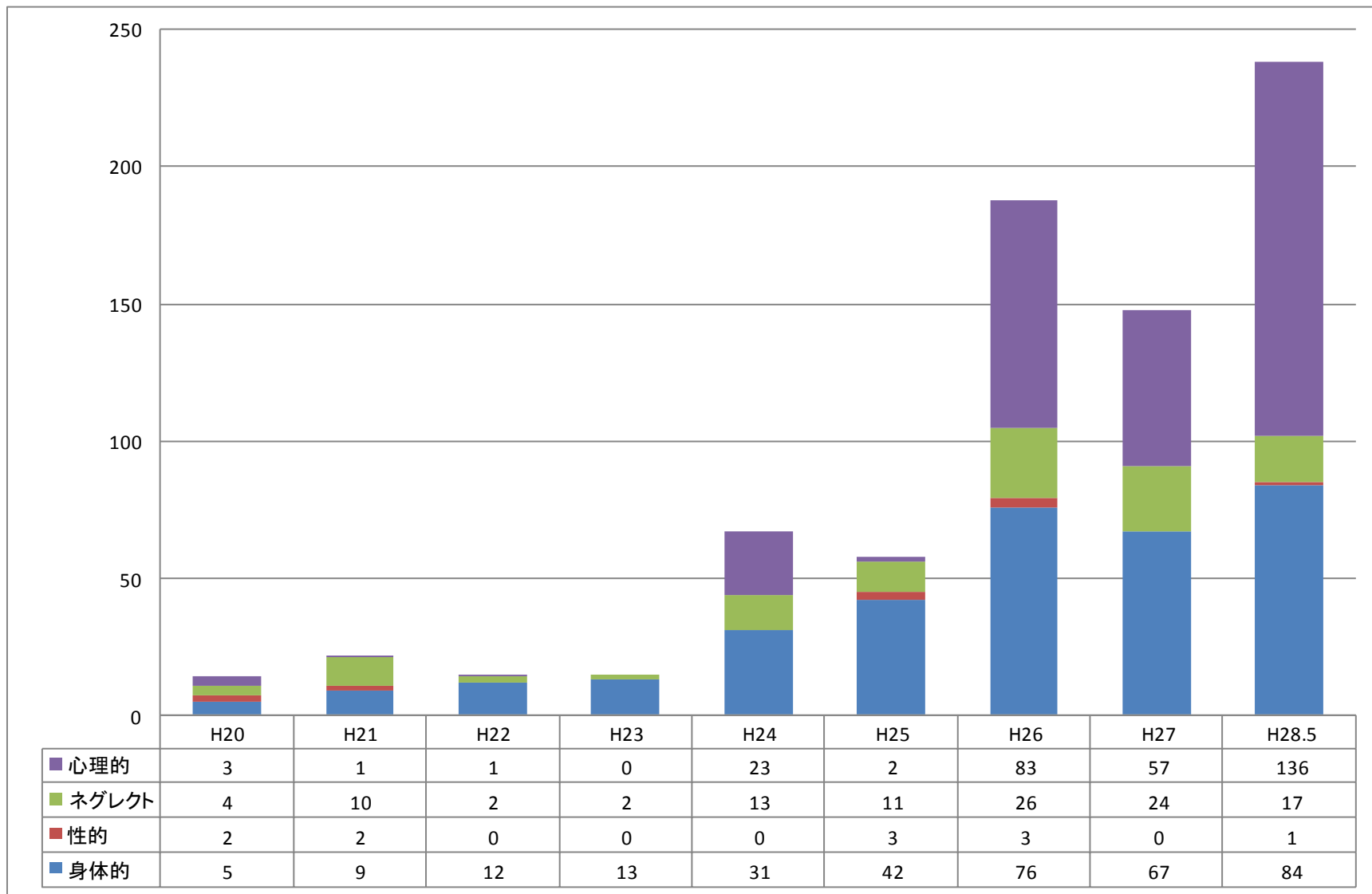
児童通告人員の推移(全国)



児童通告人員の推移(滋賀県)

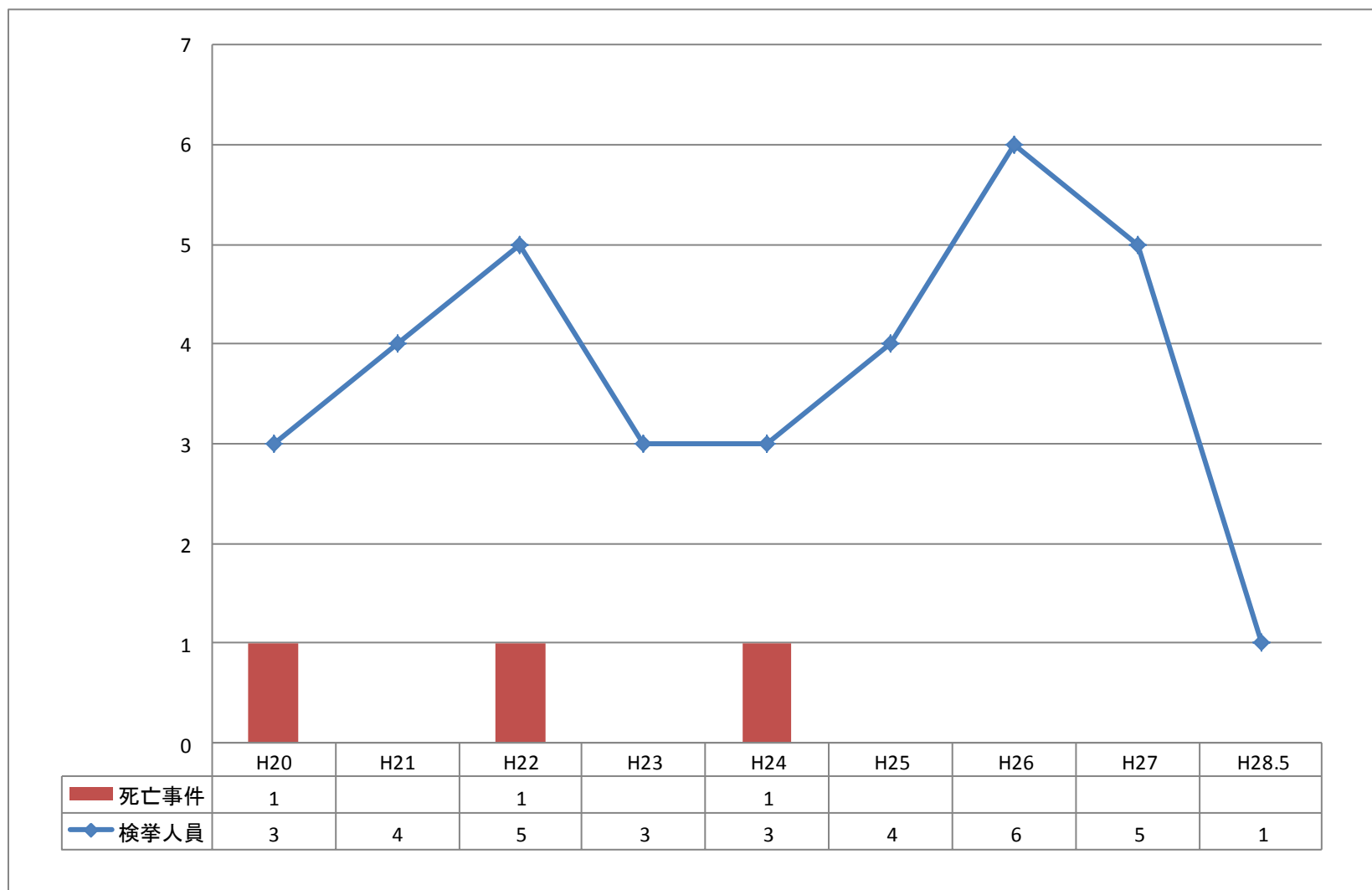


児童通告人員の推移詳細(県警)



少年課調べによる

児童虐待事件の推移(滋賀県)



児童虐待の主な事件(全国)

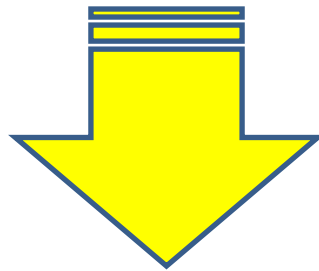
- ・実母らによる**保護責任者遺棄致死**事件
(H28年・埼玉・3歳児)
- ・両親による**傷害致死**事件
(H27年・山形・0歳児)
- ・両親による**傷害致死**事件
(H27年・大阪・0歳児)
- ・実父による**保護責任者遺棄致死**事件
(H26年・神奈川・5歳児)

児童虐待の主な事件(県内)

- ・実母による**保護責任者遺棄致死**事件
(H24年・大津・1歳児)
- ・実母による**傷害致死**事件
(H22年・甲賀・0歳児)
- ・実母による**傷害致死**事件
(H20年・木之本・0歳児)
- ・両親による**傷害致死**事件
(H18年・高島・2歳児)

原因と対策

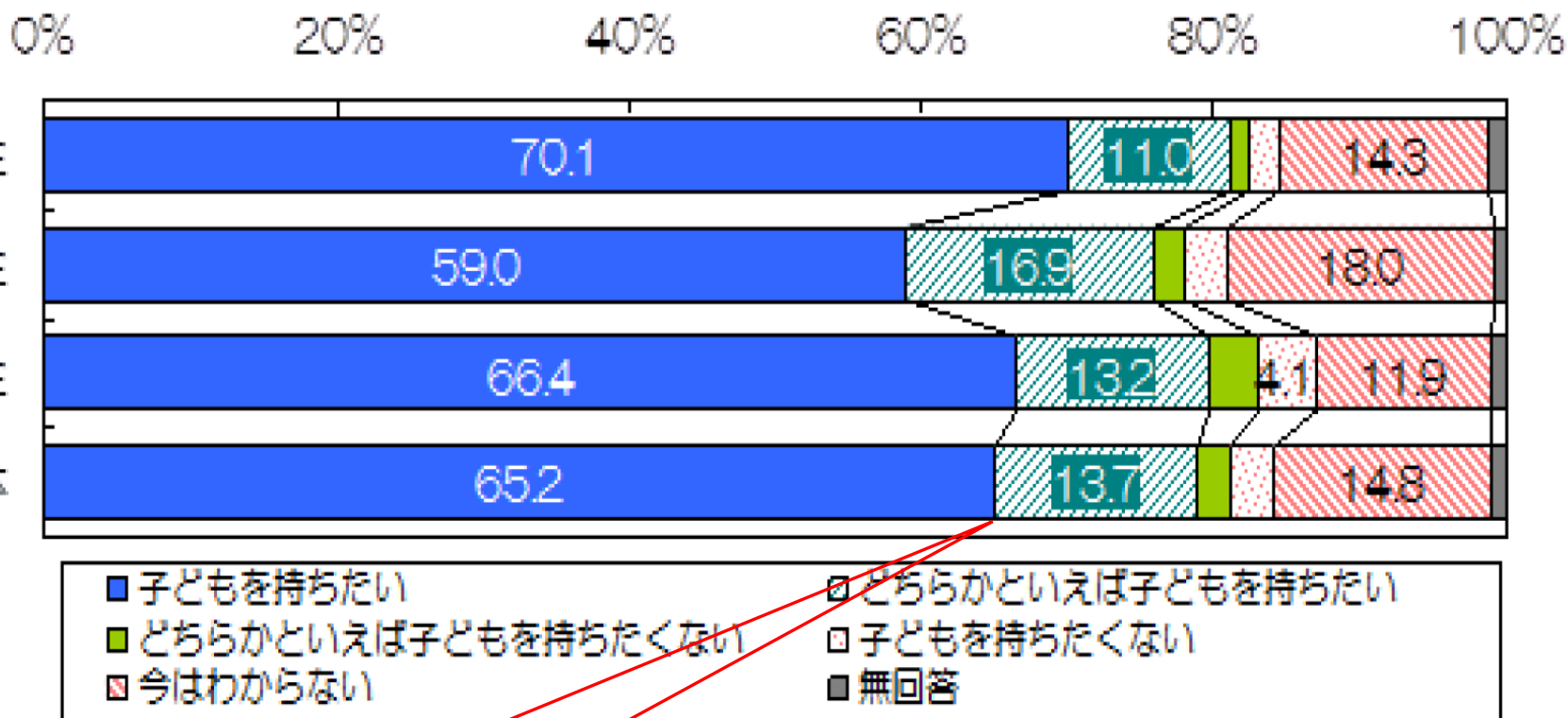
- 虐待者が若い世代の親
- 乳幼児が重篤な被害
- 虐待者に被虐待体験有り



児童虐待のスパイラルを絶つ！

次世代の親に新たな
アプローチが必要

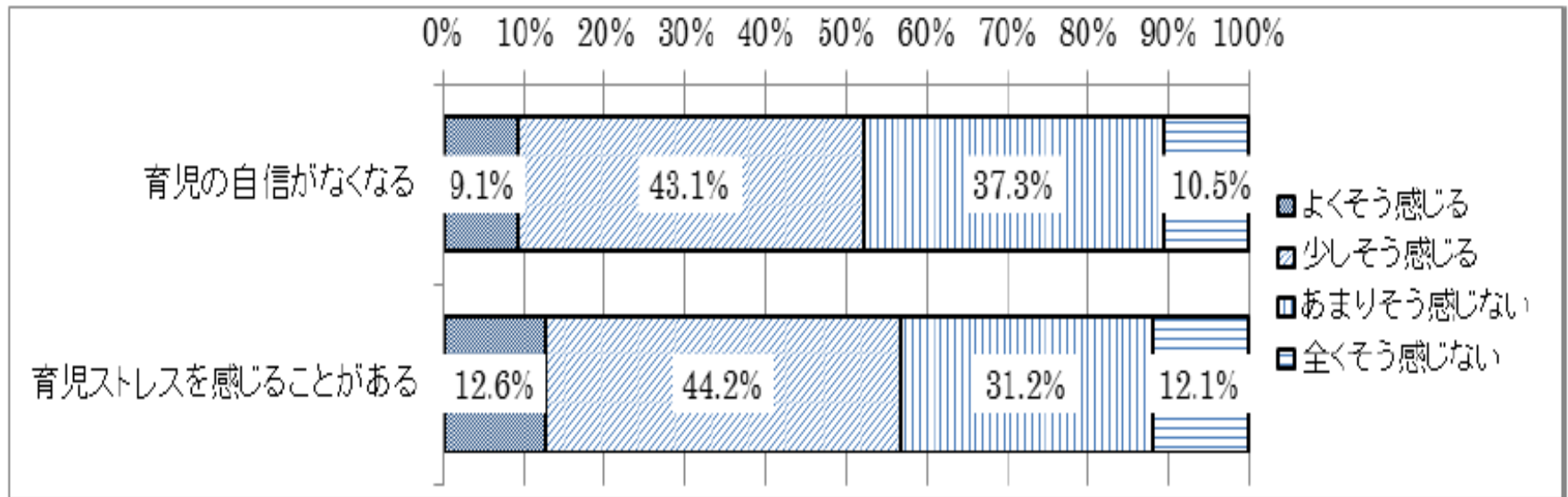
将来子どもを持ちたいと思うか



(資料)平成26年度しがの子ども意識実態調査

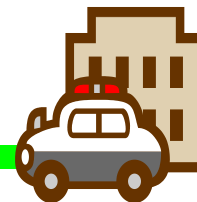
78.9%が持ちたい

育児に対する意識



(資料) 子育てに関する県民意識調査 滋賀県 平成25年(2013年)

半数以上が育児に「**自信がなくなる**」
「**ストレス**」と感じている



～NPO・大学・企業や警察等、多様な主体による協働～

児童虐待防止のための次世代支援

数年後の保護者を育成



高校生に対するアプローチ

～出産・育児の当事者となる前に

